



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月12日

上場会社名 藤倉コンポジット株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5121 URL <https://www.fujikuracomposites.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森田 健司
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 植松 克夫 (TEL) 03-3527-8111
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 2020年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	13,409	△17.3	143	△82.1	284	△60.7	212	△48.6
2020年3月期第2四半期	16,204	△2.0	800	7.7	724	△15.6	413	△39.2

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 256百万円(4.4%) 2020年3月期第2四半期 245百万円(△23.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	9.09	—
2020年3月期第2四半期	17.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	34,569	23,905	69.2
2020年3月期	35,626	23,813	66.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 23,905百万円 2020年3月期 23,813百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
2021年3月期	—	5.00			
2021年3月期(予想)			—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注2) 詳細につきましては、本日開示いたしました「2021年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異及び2021年3月期通期業績予想の修正並びに剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,500	△10.9	300	△66.3	450	△46.0	250	△35.9	10.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注2) 詳細につきましては、本日開示いたしました「2021年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異及び2021年3月期通期業績予想の修正並びに剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 一社（社名）一、除外 1社（社名）藤栄産業株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期2Q	23,446,209株	2020年3月期	23,446,209株
2021年3月期2Q	49,537株	2020年3月期	49,445株
2021年3月期2Q	23,396,717株	2020年3月期2Q	23,396,824株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を背景に経済活動の急速な停滞の影響があったことから極めて厳しい状況となり、先行きも不透明なまま推移いたしました。個人消費につきましては特別定額給付金の給付もあり、在宅等による生活必需品等への需要は増加の傾向となりました。一方で、外出自粛や在宅勤務及び休校等の影響や将来の各種負担増の懸念もあり、感染症発生前の経済活動水準への回復は時間を要すると考えられます。今後は感染症収束の長期化で景気回復は緩やかな推移となり、感染症発生前の水準への回復は業種・業態や地域ごとに時期に差が生じると思われます。

当社グループでは、2020年4月に組織体制を本部制から事業部制に変更し、事業の縦軸を強化し事業の拡充及び事業損益の追求に努めております。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は134億9百万円(前年同四半期比17.3%減)となりましたが、経費削減効果や雇用調整助成金もあり、営業利益は1億4千3百万円(前年同四半期比82.1%減)、経常利益は2億8千4百万円(前年同四半期比60.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億1千2百万円(前年同期比48.6%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<産業用資材>

工業用品部門は、住宅機器関連は堅調に推移しましたが、自動車関連部品は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により特に国内・ASEAN地域が停滞したため減収減益となりました。制御機器部門は、半導体・液晶市場の設備投資が好調を維持し、また、医療市場も堅調に推移し増収増益となりました。

この結果、売上高は88億7百万円(前年同四半期比14.6%減)、営業損失は4千6百万円(前年同四半期は営業利益4億8千5百万円)となりました。

<引布加工品>

引布部門は、第2四半期に入り回復傾向が見られるものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響で自動車関連、電気電子部品関連等の需要が低迷し減収減益となりました。印刷材料部門は、新聞用ブランケットの売上は増加したものの、国内商業印刷用ブランケット及び輸出は市場低迷に加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け減収減益となりました。加工品部門は、国内において救命設備など舶用品が減収となりましたが、品種構成の変化により増益となりました。

この結果、売上高は20億円(前年同四半期比22.8%減)、営業損失は2百万円(前年同四半期は営業利益6千4百万円)となりました。

<スポーツ用品>

ゴルフ用カーボンシャフト部門は、北米市場でOEM製品の販売低調が影響し減収となりましたが、7月以降は市場が回復し始め、さらに北米モデル『VENTUS』と日本モデル『Speeder EVOLUTION VII』が多くのプロゴルファーに使用されることにより自社ブランド商品の販売が好調に推移し増益となりました。アウトドア用品部門は、ストップしていた春夏向け商材の出荷が順次再開しましたが、富士登山の全面禁止や各地山岳エリアの登山自粛による需要消失が大都市圏で大きく影響し、大幅な減収減益になりました。

この結果、売上高は24億2千5百万円(前年同四半期比21.9%減)、営業利益は4億6千4百万円(前年同四半期比4.2%減)となりました。

<その他>

物流部門は、倉庫関係の運用は好調だったものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響により運輸部門が落ち込み減収減益となりました。

この結果、売上高は1億7千5百万円(前年同四半期比10.6%減)、営業利益は3千5百万円(前年同四半期比18.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ10億5千6百万円減少の345億6千9百万円となりました。負債につきましては、前連結会計年度末に比べ11億4千8百万円減少の106億6千4百万円となりました。純資産につきましては、239億5百万円となり、これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末の66.8%から69.2%に上昇いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月7日に公表いたしました通期の業績予想及び配当予想を修正しております。詳細につきましては、本日開示いたしました「2021年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異及び2021年3月期通期業績予想の修正並びに剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,528,810	5,862,970
受取手形及び売掛金	9,390,399	8,316,935
商品及び製品	2,236,807	2,356,639
仕掛品	2,376,408	2,200,413
原材料及び貯蔵品	700,226	797,124
その他	628,188	680,230
貸倒引当金	△59,512	△81,588
流動資産合計	20,801,328	20,132,725
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,316,716	5,057,732
機械装置及び運搬具（純額）	3,297,352	3,169,783
土地	3,215,856	3,215,100
建設仮勘定	131,590	225,146
その他（純額）	945,309	828,501
有形固定資産合計	12,906,825	12,496,262
無形固定資産		
ソフトウェア	145,066	131,650
その他	29,580	28,548
無形固定資産合計	174,646	160,199
投資その他の資産		
投資その他の資産	2,981,979	2,986,535
貸倒引当金	△1,238,379	△1,205,913
投資その他の資産合計	1,743,599	1,780,621
固定資産合計	14,825,071	14,437,084
資産合計	35,626,400	34,569,809

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,131,420	1,596,718
短期借入金	3,886,890	4,330,870
未払法人税等	75,859	110,473
賞与引当金	443,227	377,075
その他	2,242,360	1,701,597
流動負債合計	8,779,758	8,116,735
固定負債		
長期借入金	1,415,000	987,500
繰延税金負債	302,199	283,579
環境対策引当金	29,513	29,513
退職給付に係る負債	1,004,245	983,127
資産除去債務	151,433	150,826
その他	130,808	112,741
固定負債合計	3,033,200	2,547,288
負債合計	11,812,958	10,664,024
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,804,298	3,804,298
資本剰余金	3,212,485	3,212,485
利益剰余金	16,774,056	16,822,950
自己株式	△20,438	△20,473
株主資本合計	23,770,401	23,819,260
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	165,436	210,465
為替換算調整勘定	120,302	98,603
退職給付に係る調整累計額	△242,699	△222,543
その他の包括利益累計額合計	43,040	86,524
純資産合計	23,813,441	23,905,785
負債純資産合計	35,626,400	34,569,809

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	16,204,999	13,409,527
売上原価	12,145,727	10,365,293
売上総利益	4,059,272	3,044,234
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	246,382	225,976
給料及び手当	985,261	923,494
賞与引当金繰入額	107,158	89,543
退職給付費用	39,760	45,389
減価償却費	79,911	78,736
研究開発費	395,789	333,196
その他	1,404,557	1,204,724
販売費及び一般管理費合計	3,258,822	2,901,061
営業利益	800,450	143,172
営業外収益		
受取利息	3,330	7,954
受取配当金	27,770	22,559
受取賃貸料	28,465	27,033
補助金収入	6,186	61,190
債務取崩益	—	67,225
その他	45,724	52,594
営業外収益合計	111,477	238,558
営業外費用		
支払利息	6,524	9,314
為替差損	123,348	51,185
賃貸収入原価	4,787	4,963
貸倒引当金繰入額	12,994	—
その他	39,408	31,609
営業外費用合計	187,063	97,072
経常利益	724,864	284,658
特別利益		
補助金収入	1,173	—
特別利益合計	1,173	—
特別損失		
特別調査費用等	231,119	—
特別損失合計	231,119	—
税金等調整前四半期純利益	494,917	284,658
法人税、住民税及び事業税	119,104	101,120
法人税等調整額	△37,614	△29,133
法人税等合計	81,490	71,986
四半期純利益	413,427	212,671
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	413,427	212,671
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18,747	45,028
為替換算調整勘定	△161,269	△21,699
退職給付に係る調整額	12,048	20,155
その他の包括利益合計	△167,968	43,484
四半期包括利益	245,458	256,156
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	245,458	256,156

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 2
	産業用資材	引布加工品	スポーツ 用品	その他			
売上高							
外部顧客への売上高	10,312,544	2,591,667	3,104,292	196,495	16,204,999	—	16,204,999
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	56,189	56,189	△56,189	—
計	10,312,544	2,591,667	3,104,292	252,685	16,261,189	△56,189	16,204,999
セグメント利益	485,016	64,071	485,273	43,061	1,077,422	△276,971	800,450

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去193千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△277,165千円が含まれています。全社費用は、主に当社の総務部門、人事部門、経理部門にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 2
	産業用資材	引布加工品	スポーツ 用品	その他			
売上高							
外部顧客への売上高	8,807,858	2,000,299	2,425,785	175,583	13,409,527	—	13,409,527
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	48,998	48,998	△48,998	—
計	8,807,858	2,000,299	2,425,785	224,582	13,458,526	△48,998	13,409,527
セグメント利益又は損 失(△)	△46,479	△2,528	464,762	35,331	451,086	△307,913	143,172

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額には、セグメント間取引消去289千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△308,202千円が含まれています。全社費用は、主に当社の総務部門、人事部門、経理部門にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。